



Greater
Tokyo
Innovation
Ecosystem

GTIE GAPファンドプログラム
メンタリング担当機関の募集

2022年6月

募集説明会 趣旨

- GTIE GAPファンド（現在募集中）にて採択を予定される研究チームを支援するメンターの募集に関する説明会です。
- 募集するメンター、は大学等の研究成果の事業化（スタートアップの設立）を目指す研究チームに対して研究シーズに基づくスタートアップ設立のノウハウと、豊富な経験を有し、自らが所属する機関としてもネットワークを活用するなどの支援を行います。

GTIE プラットフォームとGAPファンドの目的

- GTIEプラットフォーム事業は、JSTが委託する大学・エコシステム推進型 スタートアップ・エコシステム形成支援 起業活動支援プログラムの一環として実施するもので、**大学から生まれる優れた技術シーズの実用化**やアントレプレナーシップ人材の育成を強力に支援し、**コロナ後の社会変革や社会課題解決に繋がる社会的インパクトの大きいスタートアップ**が持続的に創出される体制を構築することを目的としています。
- GTIE GAPファンドはGTIEプラットフォーム に参画する大学（13大学）に対し、**スタートアップ設立等大学から生まれる優れた技術シーズの実用化を目指す研究開発に対して支援**が行われます。

Greater Tokyo Innovation Ecosystem (GTIE)

東京大学、早稲田大学、東京工業大学の3校を主幹機関として、80を超える幹事自治体、共同機関および協力機関とともに、スタートアップ・エコシステム拠点都市である東京コンソーシアムの事業

共同主幹 (3大学)

東京大学

早稲田大学

東京工業大学

東京都他幹事自治体 (6自治体)

横浜市、川崎市、つくば市、茨城県、渋谷区

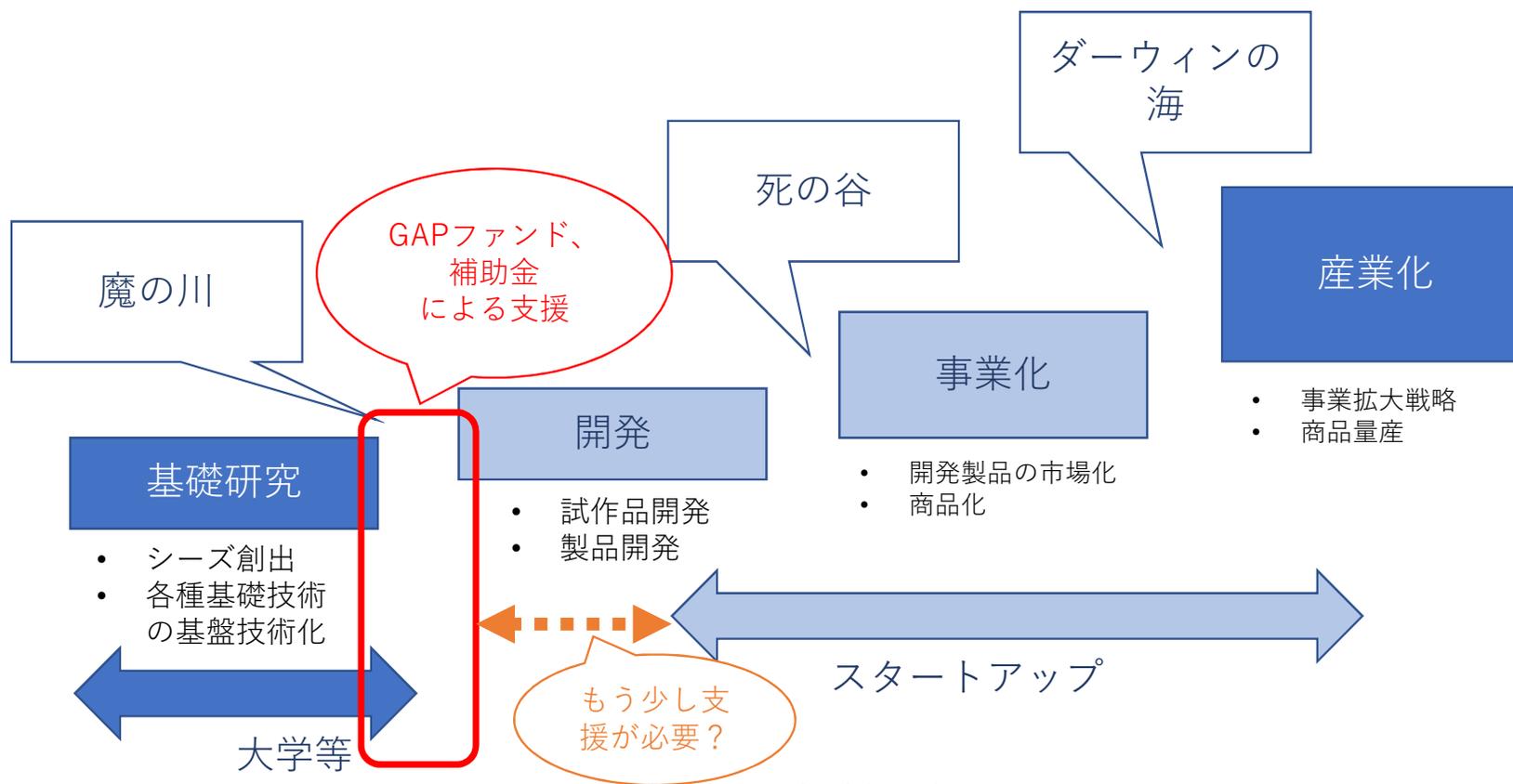
共同機関 (10大学+3コミュニティ)

筑波大学、千葉大学、東京農工大学、お茶の水女子大学、横浜国立大学
横浜市立大学、神奈川県立保健福祉大学、東京都立大学、東京医科歯科大学、慶應義塾大学
3コミュニティ

協力機関 (およそ60機関)

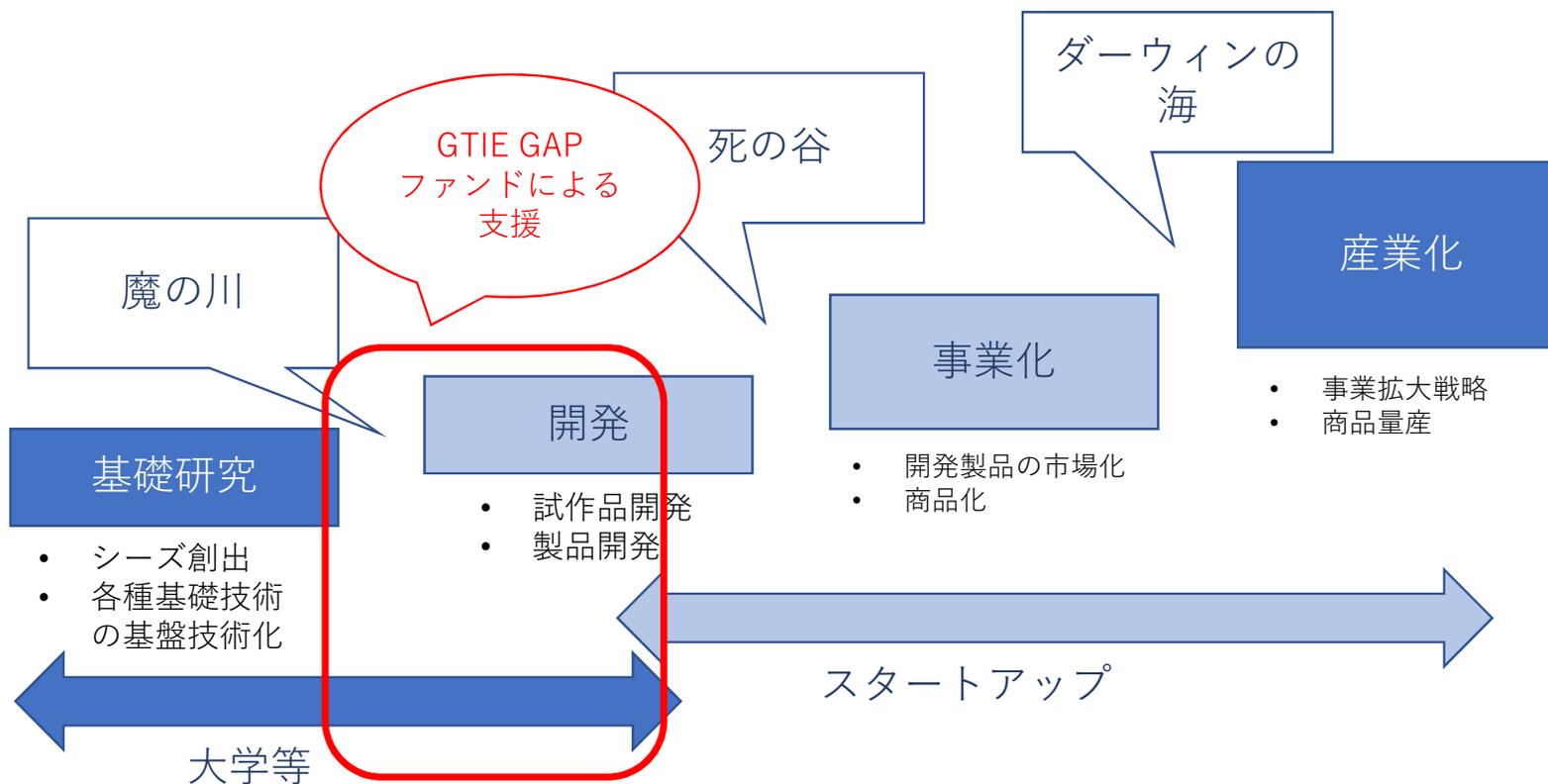
GAPファンド

GAPファンドとは「大学における基礎研究と事業化と間に存在するGAPを埋め、大学内から大学外へ技術の移転を促す基金」

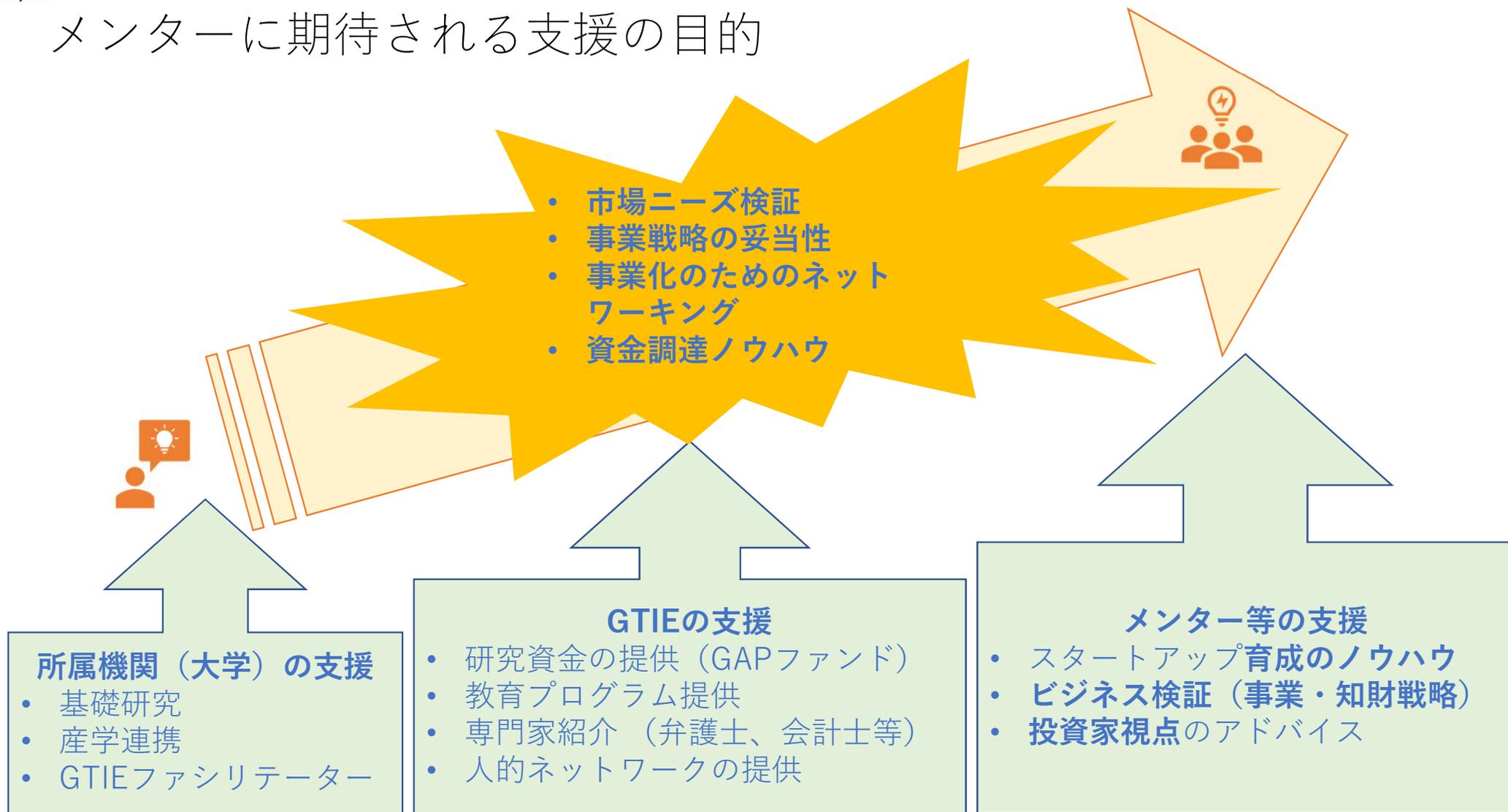


GTIE GAPファンド

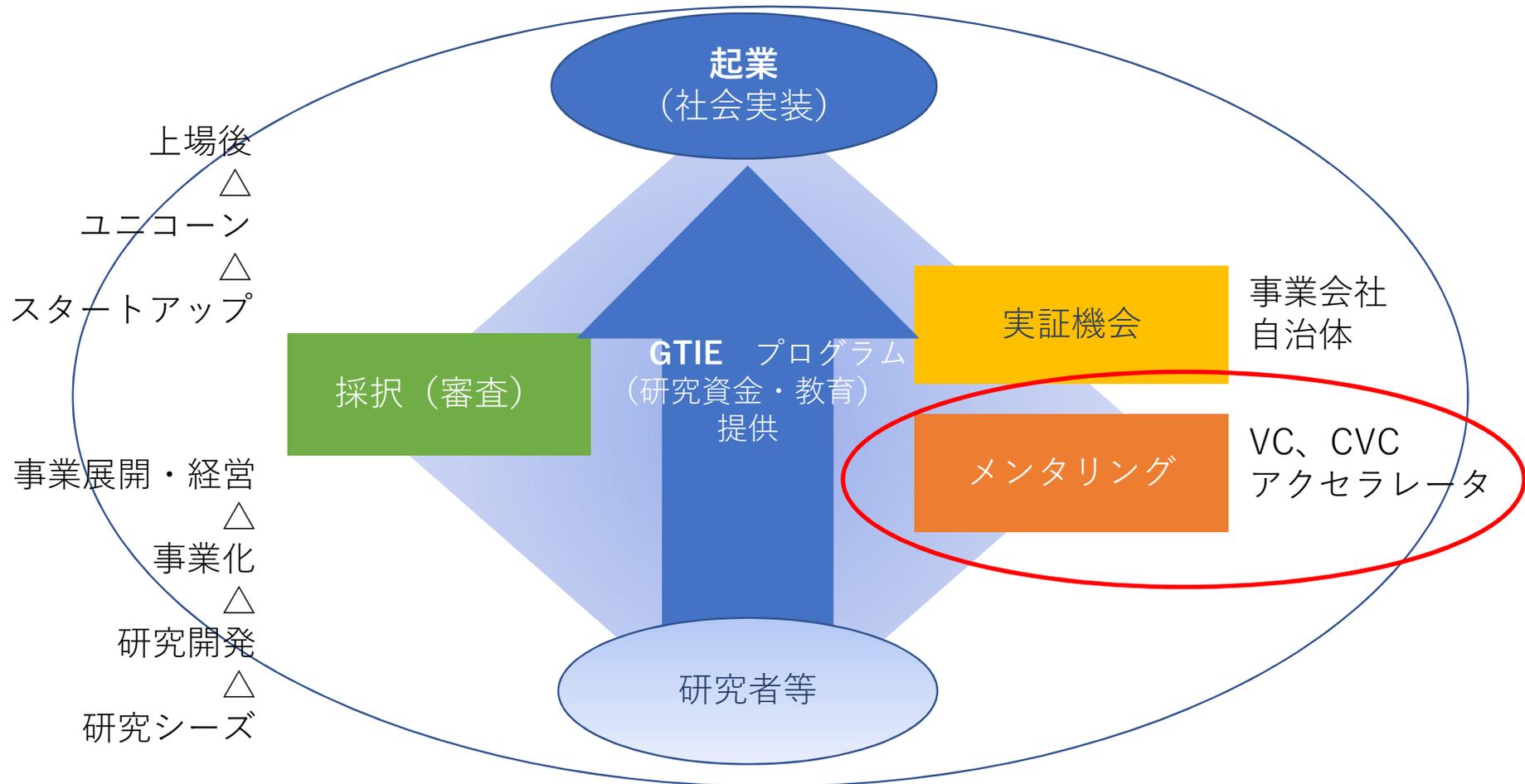
GTIE GAPファンドは「大学等の研究機関に属する研究成果と事業化との間のギャップを埋めるため、仮説検証のためのデータ（実験結果、計算結果）を得てPoCを得る、あるいは、試作品製作、ビジネスモデルのブラッシュアップ、等を進め、将来のスタートアップとしての成長を促す基金」



メンターに期待される支援の目的



GTIE GAPファンドプログラム メンターへの期待

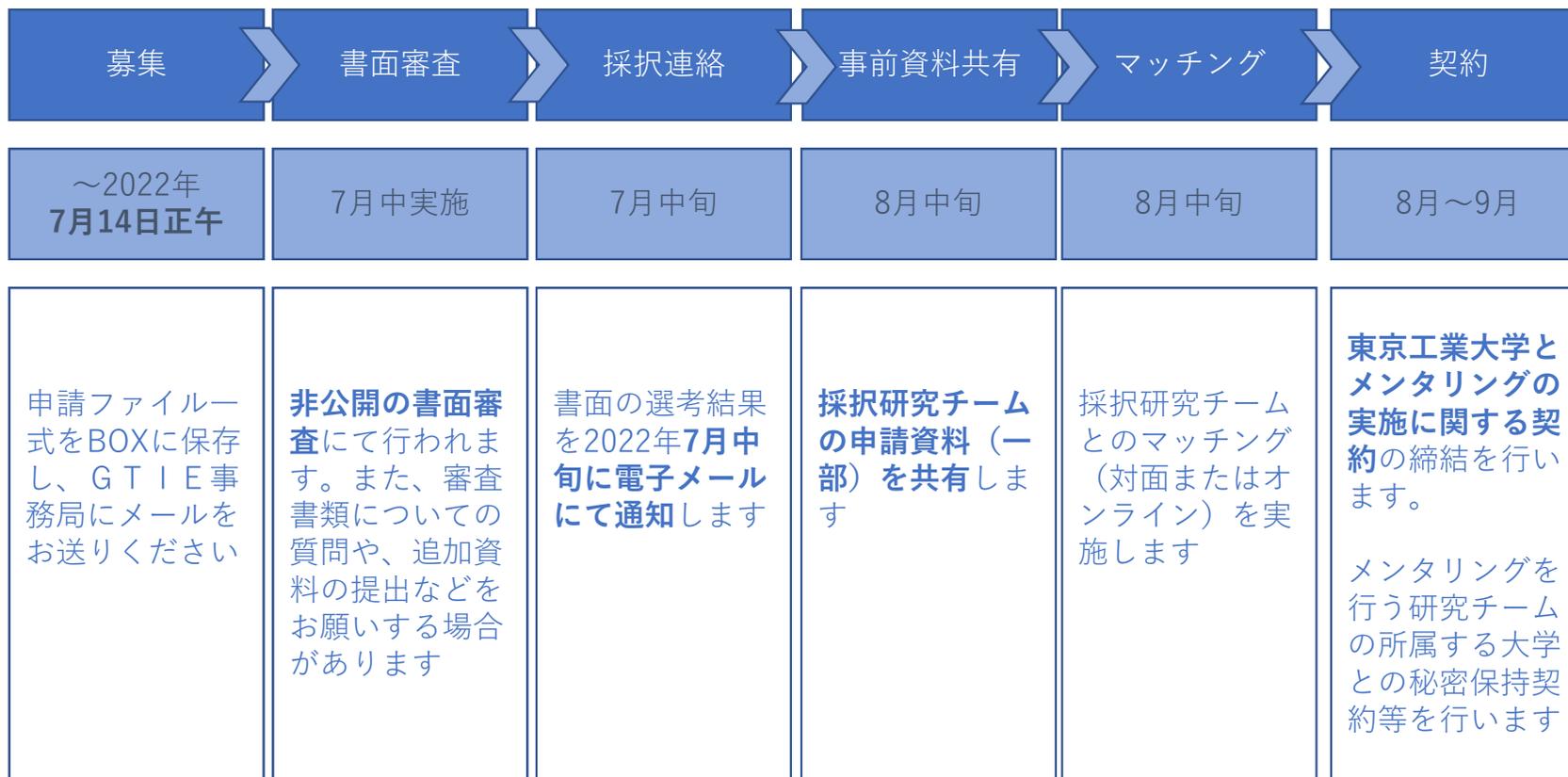


メンタリング支援機関の支援内容

- 大学等の技術シーズに対して、研究開発及び事業化支援を実施しうる事業化ノウハウを持った機関を対象とし、
- GTIE GAPファンドに採択された研究チームへの事業化に向けた研究開発活動を支援。

- ① 活動実施期間 : 2022年8月～2023年3月 (予定)
- ② 活動経費 : 1機関100万円 (税込み) 未満
- ③ 採択機関数 : 10機関程度
- ④ 募集締切 : ～2022年7月14日 (木) 正午

選考の流れ

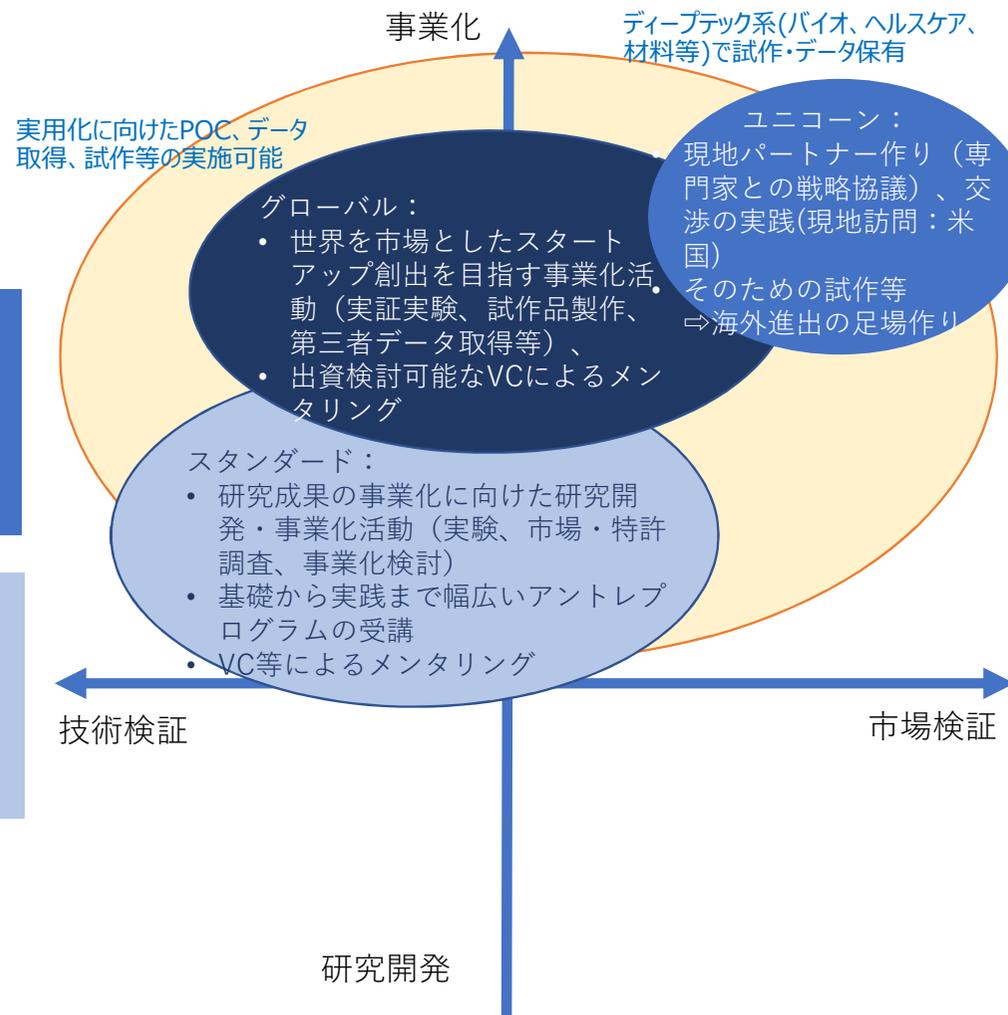
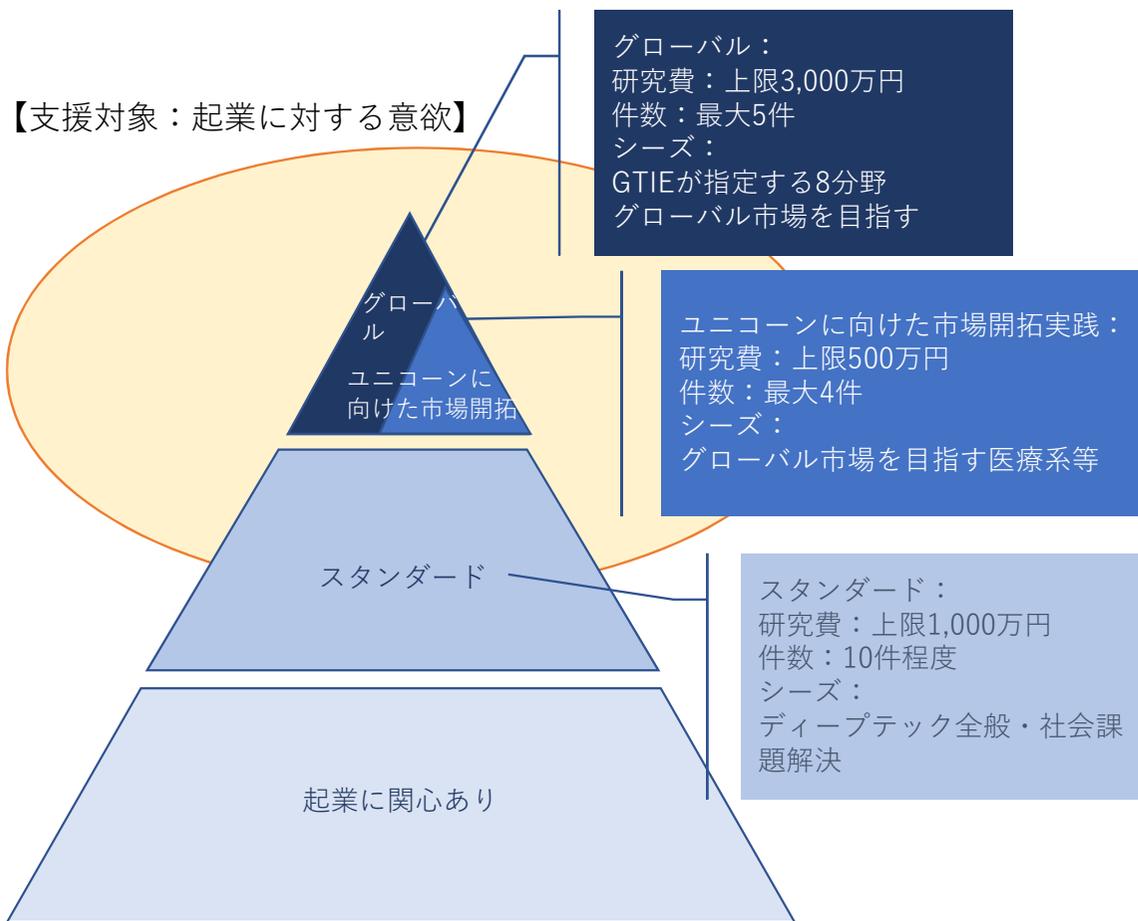


メンターに期待される活動内容

	メンタリング	イベント参加	進捗報告	JST対応	投資検討 (グローバルコースのみ)
<p>スタンダードコースのみ</p> <p>スタンダードコース1チームの支援を担当いただきます</p>	 <p>研究開発、事業計画等のブラッシュアップ等の研究チームへの一体マネジメント</p> <p>回数：月2回以上 (オンライン/オフライン)</p>	<p>GTIE主催イベントへの参加 (回数：3回程度、キックオフ、中間キャンプ、デモデイ)</p> <p>研究者の発表資料のブラッシュアップ、アドバイス (随時)</p>	<p>アプリを活用した研究者等とのコミュニケーションとGTIEへの共有 (随時)</p> <p>レビュー (月末)</p>	<p>大学・エコシステム推進型 スタートアップ・エコシステム形成支援事業を行うJST、委員会等で適宜進捗状況等の打ち合わせ等に対応すること (実施の有無、回数不明)</p>	
<p>スタンダード、グローバルの2コース</p> <p>スタンダードコース、グローバルコースの各1チームの支援を担当いただきます</p>	 				<p>プログラム修了後の出資検討</p>

(参考) GTIE GAPファンド3コース

【支援対象：起業に対する意欲】

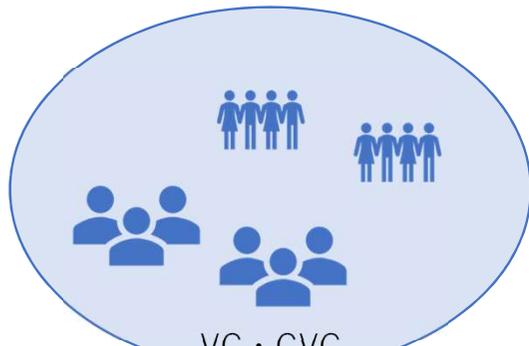


(参考) 研究者：申請準備～研究開始



GAPファンドプログラムチームアップ（1）

採択研究者

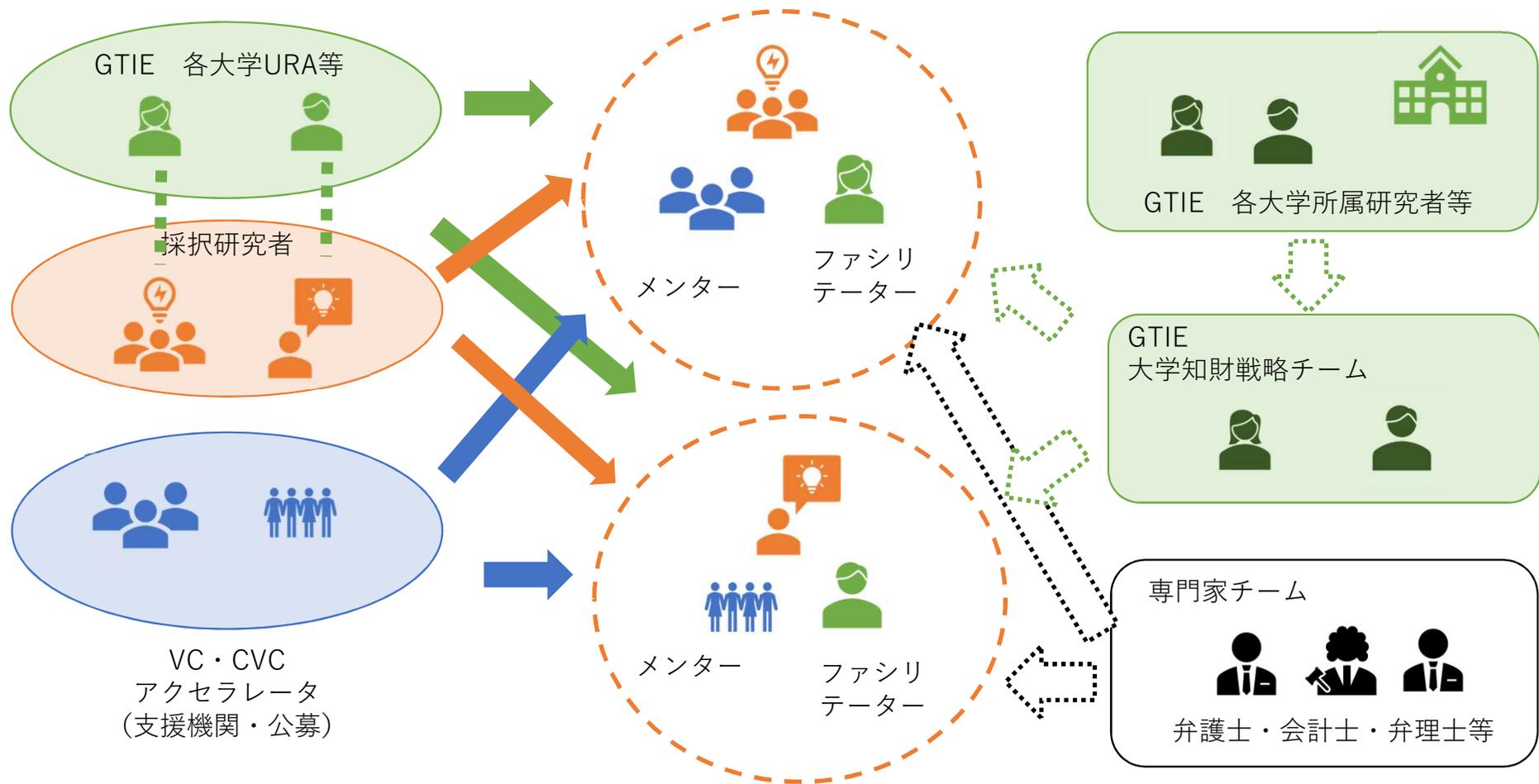


アクセラレータ
(支援機関・公募)

GTIE

事前準備	マッチング	チームアップ	マルチコミュニケーション
 支援機関 紹介資料共有 面接審査の画像 視聴 応募書類の閲覧 等	 採択者と支援機 関の面談（オン ライン?）を実 施 研究者、支援機 関それぞれの希 望を聴取 	 研究者、協力者 のチームを組成 研究者の所属大 学産連からリー ドファシリテー ター1名以上参 加 所属大学以外の 産連（希望者） からもサブファ シリテーター参 加可	 担当以外の研究 者×支援機関に もコンタクト可 能（事務局が仲 介?） 専門家（弁護士、 会計士等）によ る相談対応 全体のフォロー アップを実施 （不採択者含 む）

GTIE GAPファンドチームアップ：研究チームとサポート体制



募集対象機関と応募要件

対象機関

- 1) **スタートアップ育成の支援実績**を有する機関
- 2) **スタートアップ支援実績を有する個人（2名以上）をメンターとしてアサインできる**機関
- 3) 日本国内に法人格を有する機関
- 4) 補助金交付等の停止および契約に係る指名停止措置に該当していない機関

応募要件

1) ~3) すべての条件を満たしてください。また、4) ~7) の条件を満たすことが望ましく、グローバルコースの支援を希望する場合は5) の条件を満たすことを必須とします。

1. **ディープテックスタートアップ支援の経験**を有していること。
2. **組織的ネットワークを生かした支援等の対応が可能**であること。
3. GTIE、研究者の所属する大学等と協力して研究チームの支援を実施する熱意を有し、GTIEプラットフォームが目指すエコシステムの形成について、その趣旨を理解の上、貢献する意思を有すること。
4. **大学発スタートアップの支援経験**を有していること。
5. **スタートアップへの出資機能**を有し、GTIE GAPファンド支援終了後に資金調達の支援、戦略を実施できる機能を有していること。
6. スタートアップ支援の結果として**EXIT（IPO、M&A）の実績**を有していること。
7. スタートアップの**海外進出支援の実績**を有するまたは**海外ネットワーク**を有すること。

参考

Greater Tokyo Innovation Ecosystem (GTIE)
GAPファンド 概要

GTIE GAPファンドのコア・コンピタンス



1. グローバル志向・質の担保

- スタートアップ設立前段階から世界を意識～Born Global～
- スタートアップの質の追求



2. エコシステムの共創と発展

- 民間企業との共創（大企業、VC、その他）
- 各大学GAPファンド、スタートアップ教育プログラムとの共創と発展



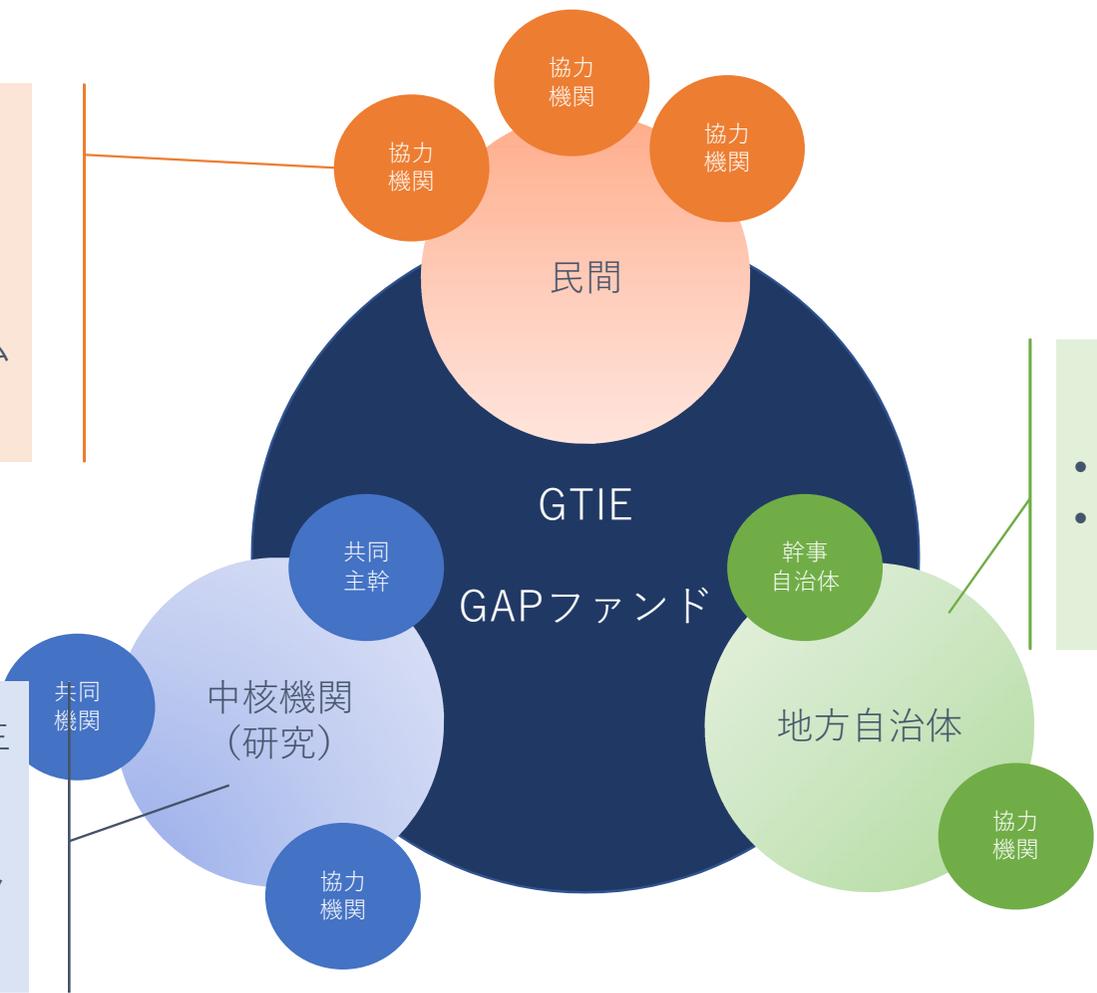
3. 大学発スタートアップDX

- 信頼性のある大学発スタートアップ【エコシステム】データの構築
- GTIE活動を未来のスタートアップエコシステムに繋げるデータの適切な管理・利活用促進のための環境整備

共創：参画者の役割

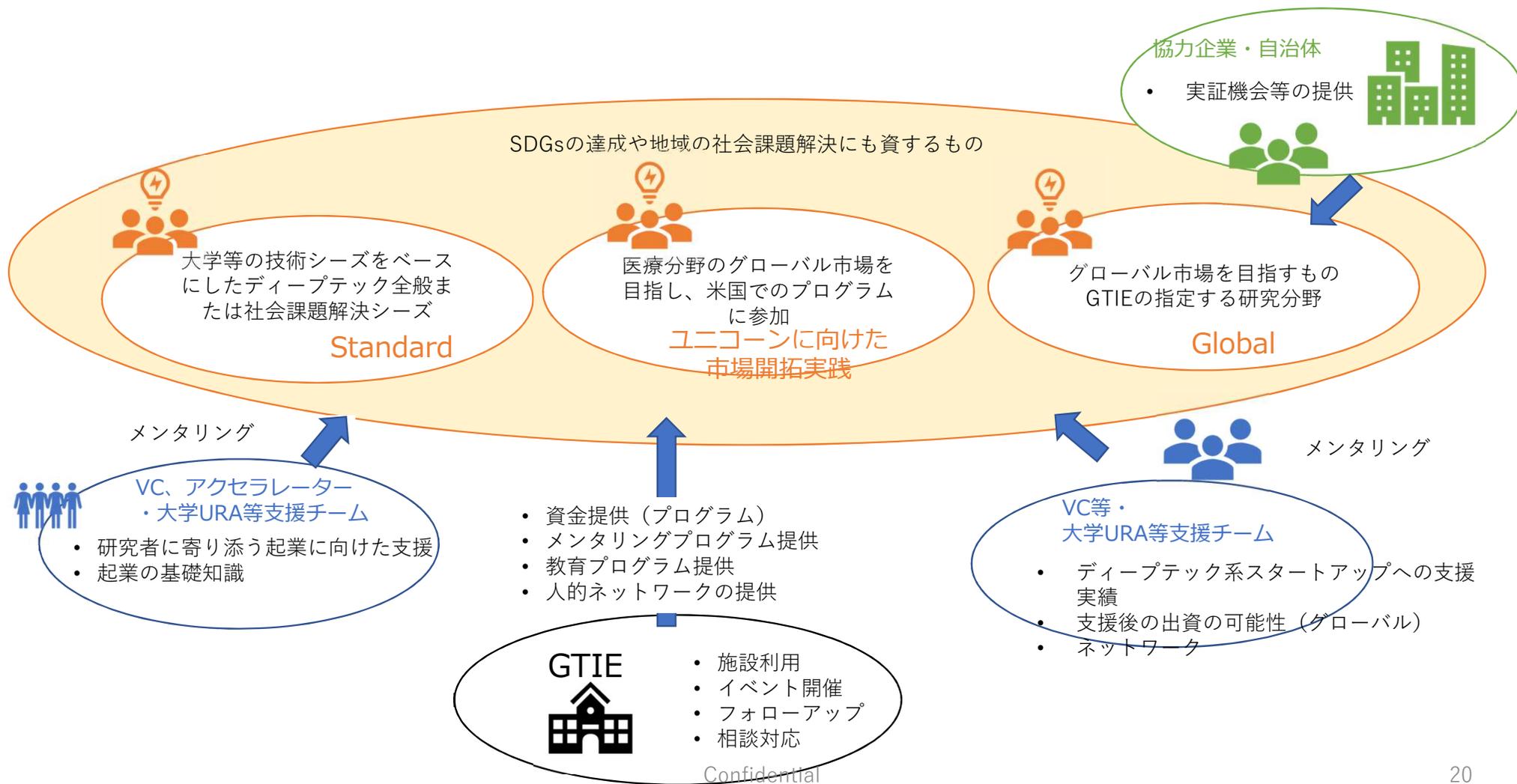
- メンタリング
- 専門性の提供
- 実証協力
- シーズニーズマッチング
- 企業主催アクセラプログラム
- 共同研究

- 各大学のGAPファンド卒業生のGTIEGAPファンドへの参加
- 参画大学内でのスタートアップ支援策の共有



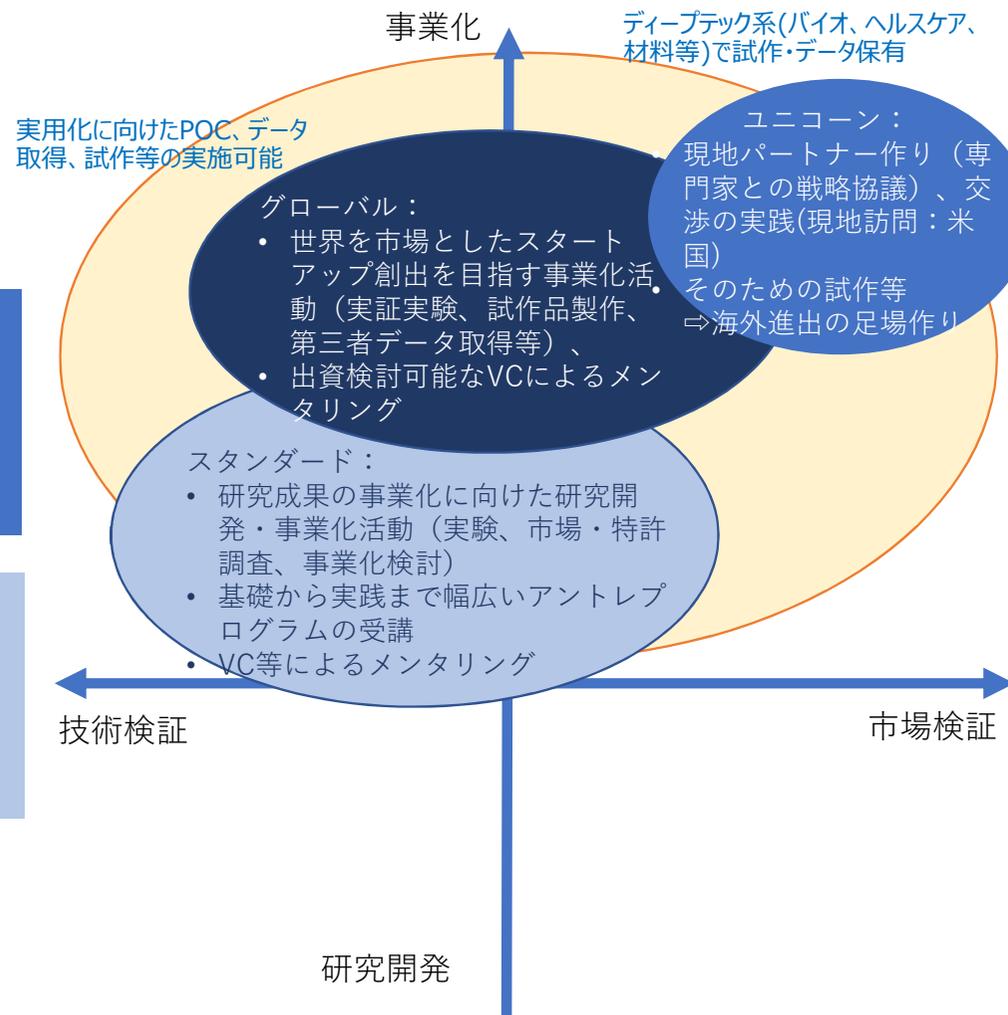
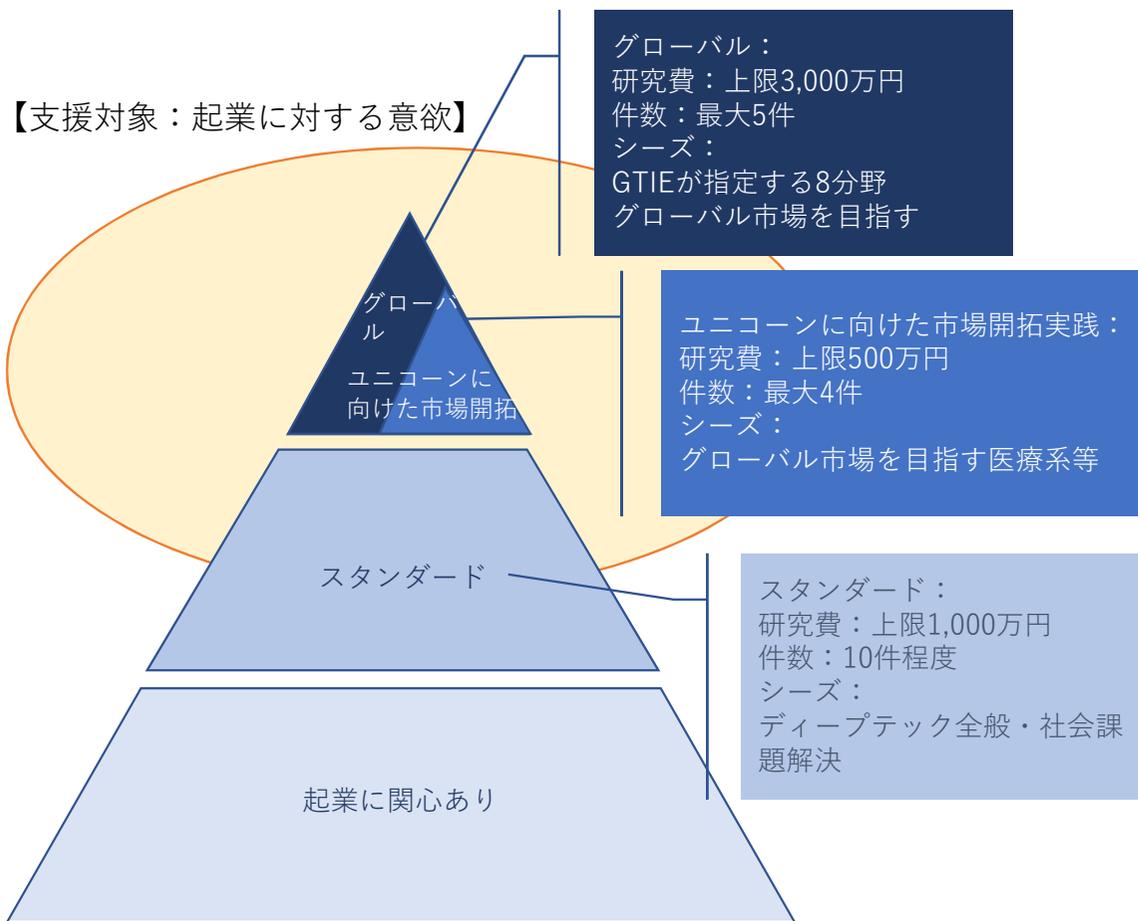
- 起業環境の提供
- 実証協力

GAPファンドプログラム概要



GTIE GAPファンド 3 コース：起業ステージ

【支援対象：起業に対する意欲】



GTIE GAPファンド 3 コース：研究・事業シーズ



大学等の技術シーズをベースにした
SDGsの達成や地域の社会課題解決にも
資するもの

【グローバル：指定8分野】

【ユニコーン：

バイオ・医療、ヘルスケア、
アグリ、材料等のディープテック分野】

【スタンダード：ディープテック全般または社会課題解決シーズ】

GTIE GAPファンド コース概要

<p>グローバル</p>	<ul style="list-style-type: none">グローバル市場を目指すスタートアップの創出支援	<ul style="list-style-type: none">実証実験、試作品製造、第3者機関によるデータ検証等
<p>ユニコーン (ユニコーンに向けた市場開拓実践)</p>	<ul style="list-style-type: none">グローバル市場を目指すスタートアップの創出支援	<ul style="list-style-type: none">米国での海外実践プログラムへの参加等
<p>スタンダード</p>	<ul style="list-style-type: none">研究成果の事業化（スタートアップ設立）支援	<ul style="list-style-type: none">ビジネスモデル作成、アントレプログラム参加、知財調査等

GAPファンド概要

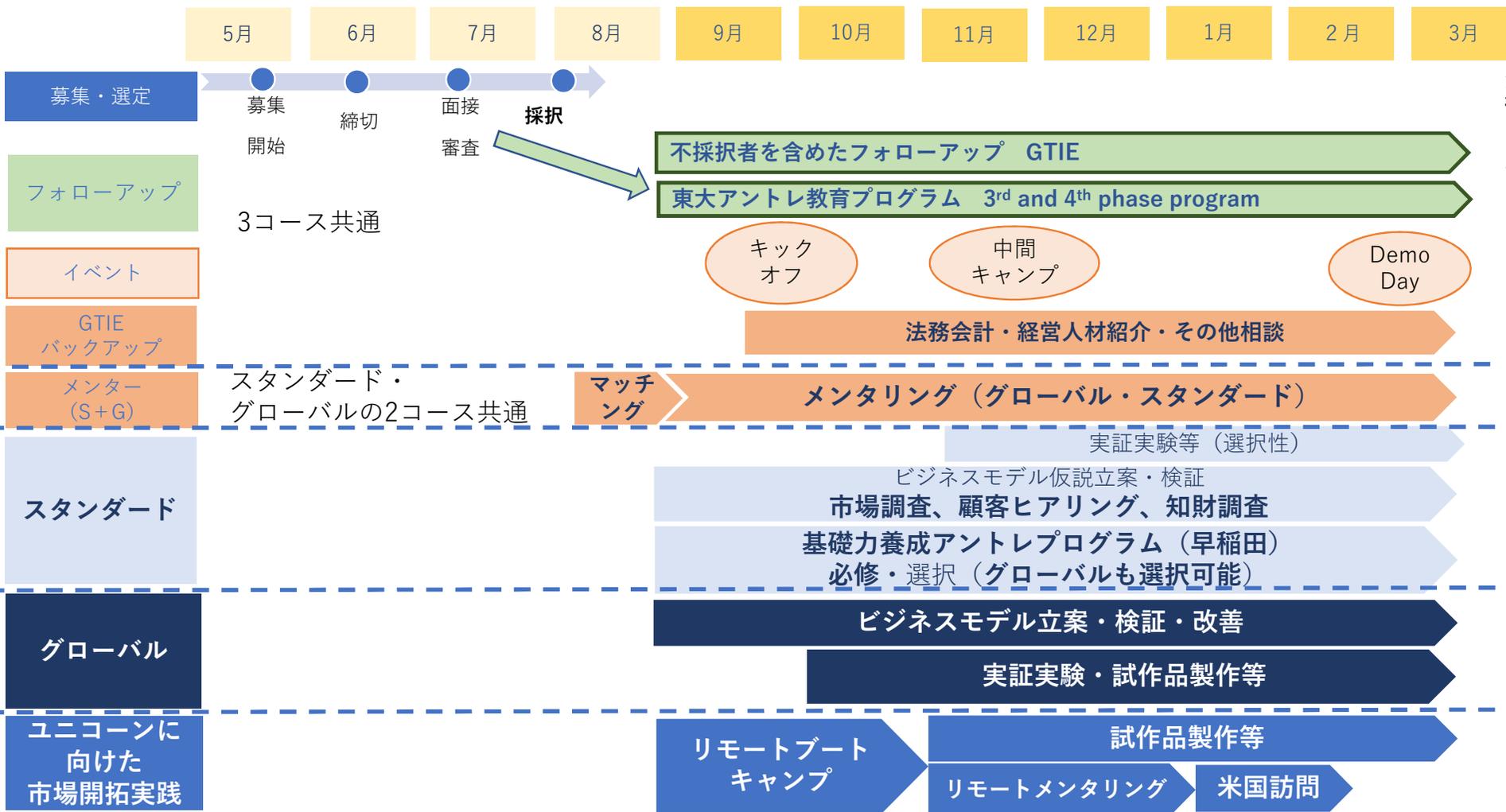
研究開発期間：6か月程度（予定）

- 2022年9月・10月頃～2023年3月末まで

	対象分野	研究開発費 直接経費・年間上限	採択予定数
グローバル	大学等の技術シーズのうちGTIEが指定する8分野： ライフサイエンス① ヒト（医療・創薬）、ライフサイエンス② 基礎領域・ヒト以外、アグリ・フード、量子コンピュータ・半導体、材料・素材、GX（クリーン電力、ゼロカーボン）、DX（スマートグリッド、AR・VR）、航空・宇宙	3,000万円	最大5件
ユニコーン （ユニコーンに向けた 市場開拓実践）	大学等の技術シーズをベースにしたバイオ・医療、ヘルスケア、アグリ、材料等のディープテック分野	500万円	4件
スタンダード	大学等の技術シーズをベースにしたディープテック（全般）および社会課題解決シーズ	1,000万円	10件程度

同一研究者による複数の申請は不可であるが、グローバルとスタンダードへの重複またはユニコーンとスタンダードを合わせた出願は可能とする。ただし、その場合は、最大3,000万円の場合、同1,000万円の場合、同500万円の場合と研究計画を金額別に記載すること

GAPファンドプログラム年間スケジュール（予定）



注：予算執行について、**補正予算交付**の事情により、執行のみならず**3月末までに業者等への振込みが完了**していることが求められる

- 会社設立
- JST START
- シード調達
- ライセンス

GTIE Start-up Training 【基礎力養成・応用編】

ギャップファンド採択チームに向けた起業・ビジネス創出等を会得する機会の提供（早稲田主担当）

【対象者】

- ✓ GAPファンド採択チーム
 - ◆ グローバルおよびスタンダード（ユニコーンに向けた市場開拓実践以外）
- ✓ 原則、プログラム受講を採択条件とする

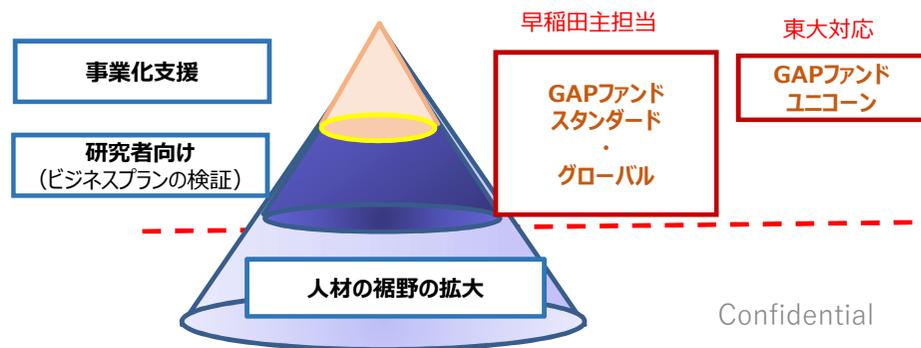
【ゴール】

- ✓ 顧客探索ノウハウの獲得
- ✓ ビジネスモデル仮説検証が数回終了
- ✓ グローバルな舞台でのプレゼン能力獲得
- ✓ 大学発スタートアップとして具備しておくべき最低限の知識の習得
- ✓ チーム形成の進捗
- ✓ 起業家マインドセットの醸成

【プログラム案】

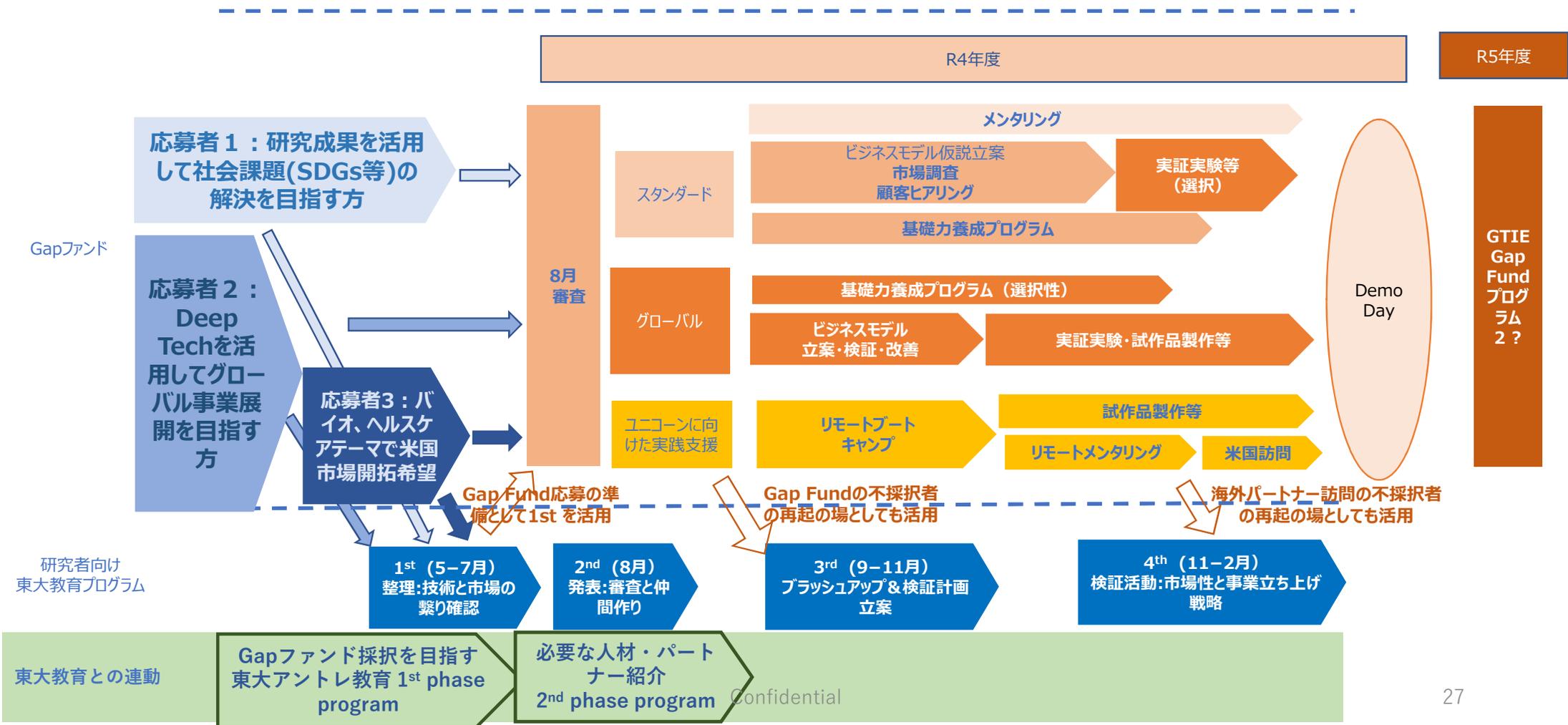
- 必修パート
 - ・失敗事例の共有
 - ・リーンスタートアップ(ビジネスモデル仮説検証、顧客探索/開発)、集合研修（秋実施 計2日～3日間）
 - ・ベンチャーファイナンスの基礎（外部の会計士や監査法人等）
 - ・ベンチャーをめぐるリーガルの基礎
- 選択パート
 - ・経営チーム組成、資本政策トレーニング
 - ・英語ピッチのコツ/特訓
 - ・プロトタイプ作成についての講義/事例ワークショップ
 - ・VCによる特別講演
 - ・NSF I-Corpsの採択団体による講演
 - ・リーダーシップ開発研修
 - ・その他T-UNITEのFDプログラムの中から選択

*可能な限りビデオ録画を行い事後に共有



Confidential

GAPファンドと東大教育プログラムとの関係



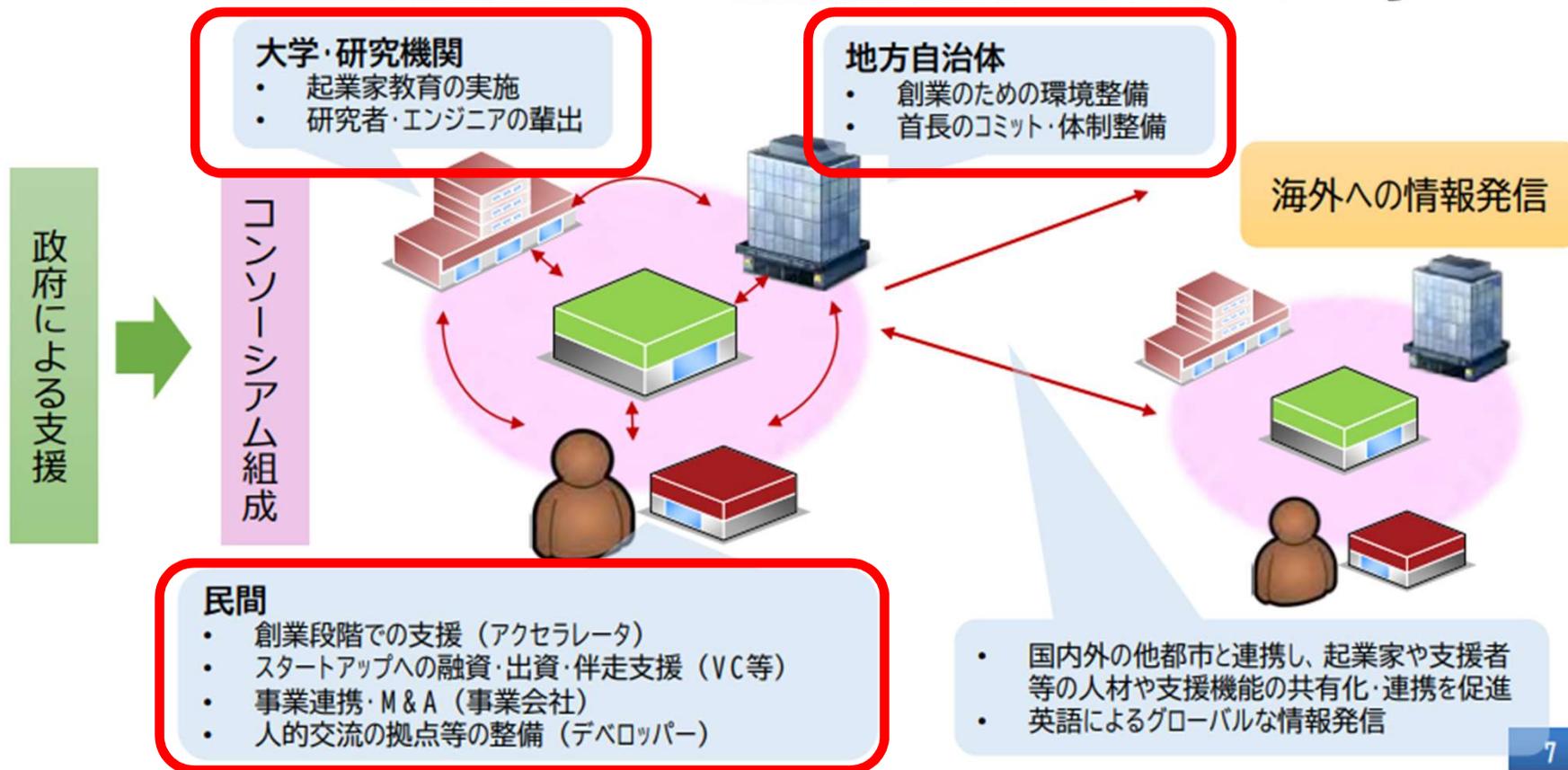
Confidential

政府のスタートアップ・エコシステム拠点形成戦略

エコシステム拠点都市のイメージ

目指す拠点像： [スタートアップの創出： スタートアップの成長： 起業家の聖地に：]

スタートアップ創出倍増 ※VC投資の数を測定
ユニコーン5社以上
海外起業家の誘致倍増 ※スタートアップVISA活用数を測定



政府のスタートアップ支援策：内閣府

内閣府

Beyond Limits. Unlock Our Potential.

世界に伍するスタートアップ・エコシステム拠点形成戦略

1. 趣旨・目的

内閣府では、**文部科学省、経済産業省及び各関係省庁と連携**し、世界に伍する日本型のスタートアップ・エコシステムの拠点の形成と発展を支援します。スタートアップや支援者の一定の集積と潜在力を有する都市において、**地方自治体、大学、民間組織等が策定した拠点形成計画**を認定します。選ばれた都市に対して、文部科学省、経済産業省はじめ各省庁と連携して**国の補助事業、海外展開支援、規制緩和等**を積極的に実施してまいります。

2. 選定結果

【グローバル拠点都市】

- **スタートアップ・エコシステム 東京コンソーシアム**
- **Central Japan Startup Ecosystem Consortium**
- **大阪・京都・ひょうご神戸コンソーシアム**
- 福岡スタートアップ・コンソーシアム

【推進拠点都市】

- 札幌・北海道スタートアップ・エコシステム推進協議会
- 仙台スタートアップ・エコシステム推進協議会
- 広島地域イノベーション戦略推進会議
- 北九州市SDGsスタートアップエコシステムコンソーシアム



政府のスタートアップ支援策：文部科学省

文部科学省 科学技術振興機構（JST）
研究成果展開事業 大学発新産業創出プログラム
＜大学・エコシステム推進型 スタートアップ・エコシステム形成支援＞

1. 目的

「スタートアップ・エコシステム拠点都市」において中核となる大学・機関から生まれる優れた技術シーズの実用化やアントレプレナーシップを備える人材の育成を強力に支援し、コロナ後の社会変革や社会課題解決につながる**社会的インパクトの大きいスタートアップが持続的に創出される体制を構築**すること。

2. 選定結果（2021年度）

- **Greater Tokyo Innovation Ecosystem (GTIE)**
- Tokai Network for Global Leading Innovation (Tongali)
- 京阪神スタートアップ アカデミア・コアリション (KSAC)

2022年5月25日 追加採択

- Platform for All Regions of Kyushu & Okinawa for Startup-ecosystem (PARKS)：福岡、北九州
- みちのくアカデミア発スタートアップ共創プラットフォーム：東北
- Peace & Science Innovation Ecosystem：中国・四国
- 北海道未来創造スタートアップ育成相互支援ネットワーク：北海道



採択プロジェクト スタートアップ・エコシステム形成支援 | 大学発新産業創出プログラム (jst.go.jp)

Greater Tokyo Innovation Ecosystem (GTIE) のご紹介

GTIE 実施体制

共同主幹

国立大学法人東京大学
学校法人早稲田大学
国立大学法人東京工業大学

幹事自治体

東京都
横浜市
川崎市
つくば市
茨城県
渋谷区

共同機関

大学等 (10)

国立大学法人筑波大学
国立大学法人千葉大学
国立大学法人東京農工大学
国立大学法人お茶の水女子大学
神奈川県立保健福祉大学
国立大学法人横浜国立大学
横浜市立大学
東京都立大学
東京医科歯科大学
慶應義塾大学

コミュニティ (3)

一般社団法人ライフサイエンス・イノベーション・ネットワーク・ジャパン (LINK-J)
CIC Japan 合同会社
渋谷スクランブルスクエア株式会社

GTIE 実施体制:協力機関(1)

都道府県・自治体・政府機関等 (4)	国内大学等	国内研究機関等	VC・アクセラレーター・スタートアップ支援企業等	
神奈川県	中央大学	国立研究開発法人 産業技術総合研究所	株式会社慶應イノベーションイニシアティブ	株式会社Coral Capital
新宿区	(東京理科大学)	国立研究開発法人 理化学研究所	東京大学協創プラットフォーム開発株式会社	500 Startups
富山県	筑波技術大学	国立研究開発法人 物質・材料研究機構	Beyond Next Ventures株式会社	Plug and Play Japan 株式会社
独立行政法人 日本貿易振興機構	神奈川大学		インキュベイトファンド株式会社	コランダム・イノベーション株式会社
	関東学院大学		株式会社みらい創造機構	株式会社先端技術共創機構
	東京都立 産業技術大学院大学		ウエルインベストメント株式会社	ラーニング・アントレプレナーズ・ラボ株式会社
	学校法人多摩美術大学		Scrum Ventures	株式会社スケールアウト
	国立大学法人 滋賀医科大学		Sozo Ventures	Landing Pad Tokyo
	学校法人 沖縄科学技術大学院大学		インテグラル・インベストメント株式会社	FieldUP
	独立行政法人 国立高等専門学校機構			株式会社アカデミック・ギャングスター

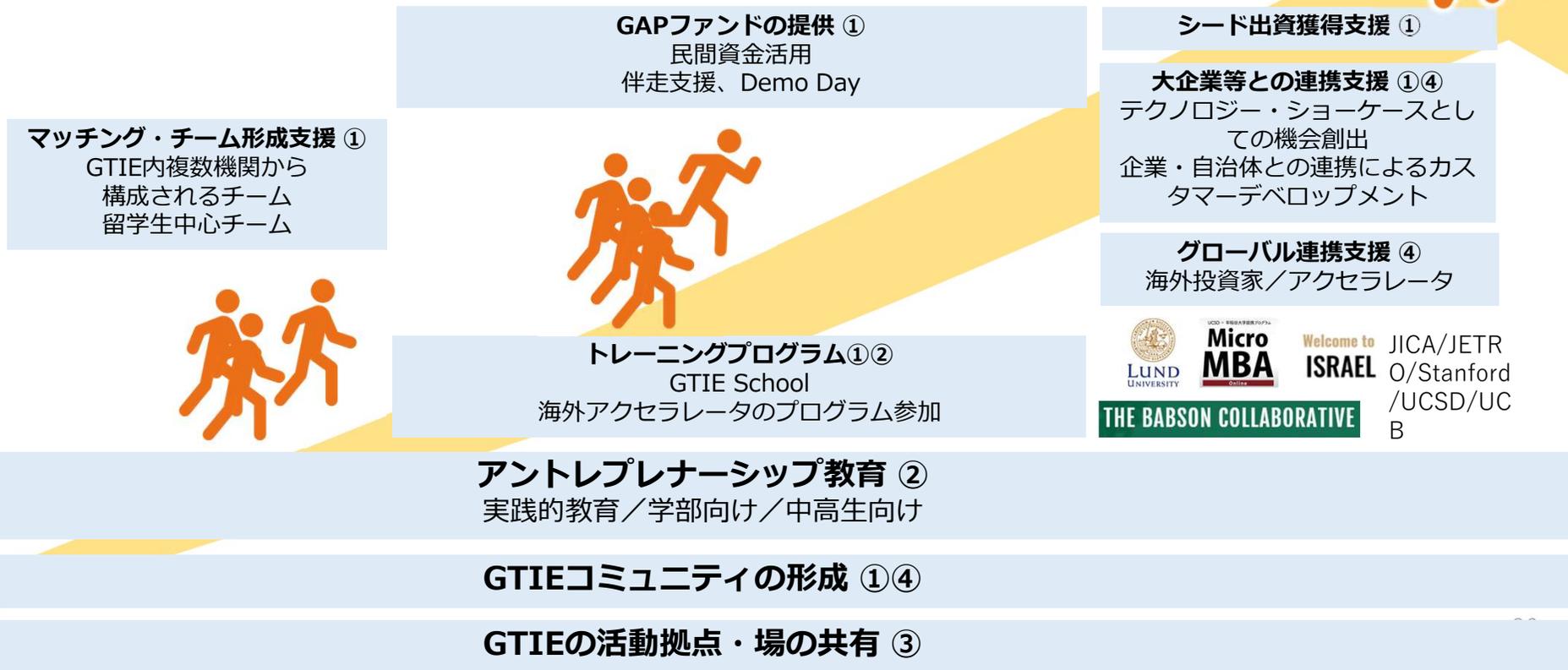
GTIE 実施体制:協力機関(2)

金融機関	事業会社	スタートアップ	海外機関	非営利団体等
株式会社横浜銀行	三菱電機株式会社	株式会社ABCash Technologies	バブソン大学	一般社団法人つくばグローバル・イノベーション推進機構
株式会社三井住友銀行	森ビル株式会社	株式会社マキシマイズ	ルンド大学	一般社団法人 横浜みなとみらい21
野村証券株式会社	三井不動産株式会社		ニューヨーク州立大学	シリコンバレー・ジャパンプラットフォーム
SOMPOホールディングス株式会社	三菱地所株式会社		テルアビブ大学	一般社団法人 ダイアログ・カフェ・クラブ
	東急不動産株式会社			一般社団法人 日本バイオデザイン学会
	野村アグリプランニング & アドバイザリー株式会社			一般社団法人 日本医療ベンチャー協会
	株式会社理研鼎業			一般社団法人 環境パートナーシップ会議
	エヌビディア (米)			一般財団法人 カルチャービジョンジャパン
				一般財団法人 大川ドリーム基金

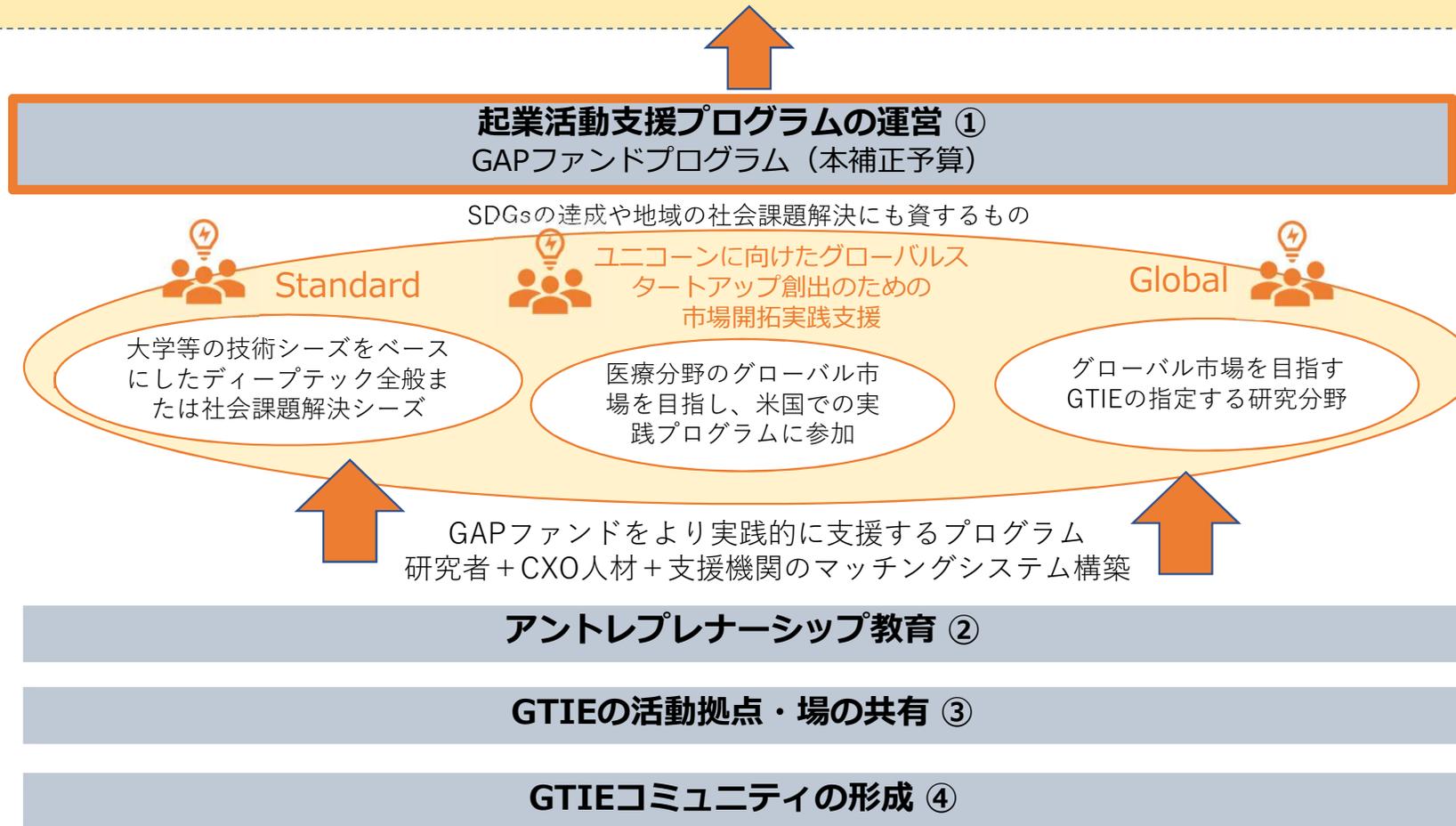
GTIEが目指す姿（本プログラム終了（25年度末）時まで）

ビジョン「世界を変える大学発スタートアップを育てる」

- ① 起業活動支援プログラムの運営
- ②アントレプレナーシップ人材育成プログラムの開発・運営等
- ③ 起業環境の整備
- ④ 拠点都市のエコシステムの形成・発展



GTIE GAPファンドの特徴：
②(アントレプレナーシップ人材育成), ③(起業環境の整備)
④(エコシステムの形成)) を連動させ、世界を変える大学発スタートアップを育てる



GTIEが目指す各項目の機能（本プログラム終了時まで）

	令和3年度の状況		令和7年度末までに目指す機能	令和7年度末の目標値*
① 起業活動支援	<ul style="list-style-type: none"> 各参画機関で個別にあるいは少数の大学が集まって支援体制を構築 プラットフォームとしてGAPファンドプログラムの運用（審査・選考・伴走支援） 	⇒	<ul style="list-style-type: none"> GTIEサーチファンドによるマッチング、GAPファンド、トレーニング、連携支援機能の提供 GTIE School の設置 自治体による独自の教育プログラムの提供、集中支援の実施 民間からの資金によるGAPファンド運営の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 大学発ベンチャー創出数1,500社（累積） （東京コンソーシアムのKPI達成（1,066社））
② アントレプレナーシップ人材の育成	<ul style="list-style-type: none"> 各参画機関で個別にあるいは少数の大学が集まってアントレ教育を実施。 FDプログラムの開発・運営 	⇒	<ul style="list-style-type: none"> 主幹機関や幹事自治体を中心になって構築、実施する大規模プログラムに共同機関等からも参加 自治体と連携し、小中高等でのアントレ講座の創設 	<ul style="list-style-type: none"> 東京コンソ会員の大学で希望する者が何らかのアントレプレナーシップ教育が受講できるようにする 年間受講者数1万人以上
③ 起業環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> 起業に係る相談窓口は参画機関個別に存在。 GAPファンド採択者、支援者が利用できる拠点を整備 	⇒	<ul style="list-style-type: none"> 東工大田町キャンパスCICにGTIE拠点を整備、起業に係るワンストップ窓口、オフィスの設置 東工大田町キャンパスに有料オフィスを設置、併せて家賃をエクイティで支払えるなどの制度整備との連携 	<ul style="list-style-type: none"> 東工大田町キャンパスに設置したGTIE拠点利用登録者100名以上
④ エコシステム形成	<ul style="list-style-type: none"> プラットフォーム主催のシンポジウムを複数回開催 	⇒	<ul style="list-style-type: none"> GTIEコミュニティの運営 グローバル連携による海外VC / アクセラレータの関与 東京コンソーシアムにアントレ教育WGを設置 	<ul style="list-style-type: none"> GTIEコミュニティ参加者数500名以上
その他	<p>【起業後の成長支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> GTIE内各機関が個別に支援を展開 	⇒	<p>【起業後の成長支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> GTIEとして起業後もコミュニティや拠点利用、シード出資支援、連携支援を継続する START /SBIRなど他の支援制度に接続 	

ありがとうございました



問い合わせ先：GTIE事務局

gtie.tt.admin@sangaku.titech.ac.jp